

# 東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日: 7/24/2018

■参加プログラム: IARU Global Summer Program

UCB1: Environmental Leadership Program

■プログラム情報: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-IARUGSP.html>

■派遣先大学: カリフォルニア大学バークレー校

■プログラム期間: 7/6/2018 ~ 7/27/2018

■東京大学での所属学部・研究科等: 農学生命科学研究科

■学年(プログラム開始時): 学部 4

■参加にあたってこの時期を選んだ理由:

M1 の早い時期が一番研究に影響が小さいと判断したから。

■参加を決めるまでの経緯:

去年の 3 月に体験活動プログラムで 2 週間アメリカに滞在したのがきっかけであった。英語で外国の方とコミュニケーションをし、異文化交流をする楽しみを再度体験したいと思った。

また、Environmental Leadership Program ということであったので、得られる経験や知識が自分の将来に必ず役に立つと思い、応募した。

## プログラムについて

■概要:

基本的に講義 6 割、エクササイズ 2 割、フィールドワーク 2 割という感じ。始めて海外の授業を受けたが、ディスカッションでの発言など最初はなれず苦労したこともあった。Environmental Leadership Program なので、Leadership に関する講義もいくつかあり、とても参考になった。エクササイズは「交渉のロールプレイ」や「10 分間での合意形成」など、日本の大学ではやらないような内容で、とてもいい経験になった。イベントとしては仲間で飲みに行ったり、歓迎会、パーティー、サッカーをするなど多様だった。

■学習・研究以外の活動で取り組んだもの:

取り組んでいない

■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由:

特に機会はなかった。

■週末の過ごし方:

仲間とどこかに出かけていた。

サンフランシスコに行ったり、アウトレットに行ったり、大学の上の丘をハイキングすることがあった。

## 派遣先大学の環境について

■設備:

スポーツ施設で一度バスケットボールをした。図書館は利用しなかったが、できたと思う。食堂は朝食はずっと同じだったが、他はそこまで不満はなかった。キャンパス内では Wi-Fi が使えた。

■サポート体制:

学生バイトの方などプログラムへのサポートはしっかりしていた。

語学面等、上記のサポートは特に受けていない。

## プログラム期間中の生活について

### ■宿泊先の種類:

学生寮

### ■宿泊先の様子、どのように見つけたか:

教室から徒歩 5 分くらいの寮に泊まった。  
個室で、バスタイレは他の参加者と共通だった。  
タオルが備わっていたが、それ以外はなにもなかった。

### ■気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等:

気候は一度も雨が降らなかった、毎日晴れて朝は肌寒いくらいだった。  
移動は基本的に大学周辺だったが、サンフランシスコに電車で行くことや、UBER で郊外のアウトレットに行ったこともあった。  
食事は基本的に大学の食堂で食べた。色々なものを選べるので、そこまで困らなかった。  
ダウンタウンには多様なレストランがあり、仲間と中華を食べることもあった。

### ■お金の管理方法、現地の通貨事情:

クレジットカードを二種類持っていくくらい。  
JCB は使えないケースが二回ほどあった。

### ■治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理:

治安は悪くないと思うが、一人で夜歩くのは避けるように言われていた。

### ■自由時間に利用した交通手段:

列車, Uber

### ■プログラム期間中に利用したネット環境:

キャンパス Wifi

## 参加前の準備・手続きについて

### ■プログラムへの参加手続き:

英文履歴書や参加動機など、IARU の GSP 共通のものに加えて追加の提出課題があった。自分の経験を書くことが多かった印象。

### ■ビザの手続き:

派遣先の案内に従って ESTA を利用したのでネット上で終えることが出来たが、それでよかったのかはわからない。

### ■医療関係の準備:

特にしていない。

### ■保険関係の準備:

大学の案内に従って保険に加入した。

### ■東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続き:

特にしていない。

**■ 語学関係の準備:**

TOEFL での Speaking の点数がひどく、Speaking に課題があると思っていたので、1 か月間ネット英会話で慣れておいた。

**費用・奨学金に関すること****■ 参加するために要した費用:**

航空費	140000 円
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)	900000 円
教科書代・書籍代	0 円
海外留学保険料(東京大学指定のもの)	8000 円
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)	0 円

**■ その他、補足等:****■ 留学先で費やした生活費:**

家賃	0 円
食費	0 円
交通費	10000 円
娯楽費	20000 円

**■ その他、補足等:****■ プログラム参加のための奨学金の受給有無:**

受給した

**■ 奨学金の支給機関・団体名等:**

FUTI, JASSO

**■ 受給金額(月額):**

500000 円

**■ 受給金額についての補足等:****■ 奨学金をどのように見つけたか:**

大学(本部国際交流課)からの案内

**プログラムを振り返って****■ プログラムに参加したことの意義、その他所感:**

リーダーシップとはなにかなど、日本の大学で勉強しては学ぶことが出来たなかったような内容を学ぶことが出来た。また、精神的にも成長することが出来たと感じている。

**■ 今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響:**

実際に働いている方々とプログラムに参加していたので、色々な人の考えに触れることができ、選択肢がより広がった。

■進路・就職先(就職希望先):

公的機関、民間企業

■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス:

短い期間でも参加する価値があると思います。思い切って参加してみてください、必ずプラスに働くと思います。

■準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物:

Web 上の体験記